

施策番号	2003		
施策名	歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」プロジェクト大作戦）		
概要	「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発を推進するとともに、歩いて楽しい暮らしを大切にする動機付けのための情報や公共交通を利用する際に必要となる情報を、さまざまなメディアや機会などを通じて提供し、交通行動の振り返りや変更を働きかけ、ライフスタイルの転換を促す。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

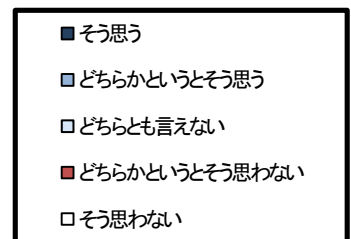
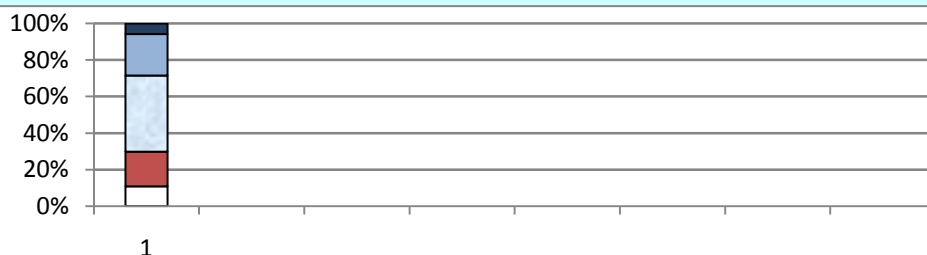
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 観光客公共交通利用割合(%)	-	-	-	79.1	-	-	-	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	客観指標総合評価				-	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（くらし方、生き方）が大切にされている。	31	122	224	102	58	537	c
	5.8%	22.7%	41.7%	19.0%	10.8%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							C



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	-	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						年 度	-
(原因分析) ・市民生活実感評価については、ライフスタイルの転換を図るため、市民や観光客の皆様に対して公共交通利用促進を図る情報の提供などを行っているが、より浸透させるためには、継続的な取組が必要であることから、現時点では、c評価となったと考えられる。 ・客観指標評価において、調査方法が変更されたことから前年度との比較ができないため、総合評価は市民生活実感評価からC評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

今後も、ライフスタイルの転換をひとりひとりに促すため、「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)を継続して推進し、自らの行動を振り返り、行動をどのように変えるかを考えるきっかけとなる機会や情報の提供を行うことにより、市民、観光客の皆様と一体となって過度な自動車利用の抑制を推進する。

施策名	2003	歩いて楽しくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」大作戦） プロジェクト
-----	------	--

指標名	観光客公共交通利用割合（%）
-----	----------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

京都市への入浴観光客が利用する交通手段に占める公共交通の割合

2 指標の意味

観光客の公共交通の利用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都観光総合調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	22年度	23年度		数値	根拠	
数値	-	79.1	-	-	前年度より改善することを目標値とする。	-

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	平成22年度までの観光調査年報から、平成23年度は京都観光総合調査に変更されたことから、前年度数値との比較ができないため、次年度から評価を行う。
----	--

5 評価基準

公共交通の利用割合について、単年度目標値の達成度が
 a：100%以上
 b：80%以上100%未満
 c：60%以上80%未満
 d：40%以上60%未満
 e：40%未満

6 基準説明

最高値を100%以上とし、以下20%刻みで設定した。

7 評価結果

	23	24
-	-	-